

カリキュラム

機構施設名：山口職業能力開発促進センター

実施機関名：株式会社パワートレイン

(A) バックオフィス	新技術活用	DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
-------------	-------	-------------------------

コースのねらい	DX(デジタルトランスフォーメーション)による企業変革の有効性を理解し、自社のDX推進に向けたポイントを習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
1	DX概論	<p>(1) 生産性の向上とDXの概念 昨今、経営者の間でも話題となっているDX(デジタルトランスフォーメーション)。多くの場面で「企業でのIT活用」という文脈で語られています。しかし、本質的なDXとはIT活用の先にある新たな価値創造を意味します。ここでは、そもそも生産性の向上とは何か、DXとは何か、生産性向上とDXの繋がり、IT活用と何が違うのかについて分かりやすく解説します。</p> <p>(3) デジタル化・DXのレベル DXはデジタル化の先にある、新しい価値創造の状態を指します。ここではDXに至るまでのデジタル化の取り組みを7段階に分け、どのような状態を目指すのかを具体的に解説します。</p>	
2	DX導入事例	<p>(1) DXに成功した事例紹介 IT活用とDXの成功事例について、大企業のみならず、中小企業や個人事業での事例を、製造業、サービス業、農業等の業種をピックアップし、動画やサイトも含めてご紹介します。</p>	6.0
3	DX戦略の導入	<p>(1) クラウド技術とDX DXやデジタル化に取り組む際に利用することが見込まれるクラウドについて、その技術の全容と、どのようなツールがあるのか、どのような順序で技術を導入するかについて解説します。</p> <p>(2) ビジョンマップを使ったDX戦略の策定方法【演習あり】 DXに取り組むためのDXビジョンの創造と、そこから具体的にDX戦略を考えるためのステップを、ビジョンマップを用いた演習で学習します。</p>	

カリキュラム作成のポイント

DXは概念ではなく企業の経営戦略の一つです。この訓練では、自社の目指すべき方向(ビジョン)を明確にした上で、どのようにDXを具体化するか？自社に戻ってすぐに活用できる(すぐに取り組める)ことを目標に、ワークショップ形式で実施します。実際の事例を見て、自社にあてはめて考えてみて、実体験してみる、ということをポイントにカリキュラムを作成しています。

講師から一言 (リーフレット掲載用 50~70字程度)

DXは単なるIT導入ではなく、企業の価値創出のあり方そのものを見直す取り組みです。本研修では、DXの基本的な考え方を整理した上で、具体的な事例を通じて「自社では何から着手すべきか」を考え、現場で実行可能な第一歩を描くことを目的としています。